

Hiroko の “お金について Q & A”

私は日本、英国、カナダ3か国で、30年余り金融会社一筋に働いてきました。お金、金融、投資、保険に関して、日常はてなと思うようなことを、何でもお気軽にご質問ください。



Q: 私は48才の夫と15才と12才の2人の子供がいる主婦です。コンドを持っていますが、モーゲージを払うのがやっとなので、貯金もあまりありません。夫の保険は掛け捨てだけで、8年前、家を買った時、10年ごとに高くなるタイプの\$300,000の掛け捨て保険に入りました。保険料は毎月\$30で11年目から保険料が毎月\$150になります。生命保険は絶対に必要ですが、保険料がかなり高くなるので、どうしたらよいのか迷っています。

A: 生命保険は稼ぎ手のご主人が万一、お亡くなりになっても、家族が困らないようにと、250年前イギリスで始まりました。最初は、みんなで、お金を出し合い、ご主人が亡くなった家に払っていました。それで、以前は相互会社、(Mutual company)といわれていました。今、一番、亡くなる確率が高いのが、がんで千人中、3人ぐらいはがんで亡くなっています。ですから、生命保険とともに、がん保険(重大疾病保険)も必ず入っていたほうが良いです。この方の場合、今からでも遅くないので、掛け捨てT10 \$300,000の\$100,000を終身保険にConvertし(轉換すると、健康診断なしでConvertできます。)残り、\$200,000を掛け捨てT20に変えたほうが良いです。終身保険、\$100,000だけでは保障が足りないので、後20年間、終身保険の上に掛け捨て保険T20 \$200,000をのせて保障を大きくします。20年後には、子供さんたちも大きくなり、家のモーゲージの残高も減っているので、終身保障\$100,000でも大丈夫でしょう。48才男性、NS(ノンスモーカー)、Universal Life \$100,000とT20 \$200,000で保険料、毎月\$162です。

掛け捨て保険は読んで字のごとく、お金を捨てるようなものです。掛け捨て保険は、家のモーゲージがある時とか、子供が成長するまでの期間限定で入るのは良いですが、最長80才までしか保障がなく、寿命が長くなっているため、80才までに亡くなる方は少なく、ほとんどの方は保険金をもらうことができないで、保険料だけ払い、保険会社をもうらせる保険です。40才の男性、NS、T10、保障\$300,000で40年間の掛け捨て保険の総支払額はなんと\$169,380になります。80才までに亡くなれば、保険金\$300,000がもらえますが、その確率はますます低くなっており、保険料は返ってきませんし、積立金も貯まりません。

*掛け捨て保険は終身保険に健康診断なしで、簡単にConvert(轉換)できます。

終身保険に入っていれば、人間いつかは死ぬので、長生きしてもいずれは保険金がもらえます。

保険料は若いほど安く、毎年、高くなるので、終身保険にできるだけ早く入り、20年ぐらいで払い込み終了し、一生涯保障がある終身保険に入ったほうが断然、お得です。終身保険は大きくわけて、Whole Life、Universal Lifeがあります。

Whole Lifeは保険の中で、一番保険料が高いですが、“終身保険と年金の両方できる”、有益な保険です。積立金はマーケットで運用されず、保険会社の利益の配当金で、毎年、確実に6%-8%の利回りがあり、しかも非課税です。その上、保険料払い込み終了後も積立金がぐんぐん増え、将来の年金としても利用できます。40才の時、\$100,000のWhole Life 15年払い込み終了、保険料は毎月\$265で、15年間の総支払額は\$47,700ですが、20年後には積立額

がこの総支払額を超えて、どんどん増えていき、しかも、終身保障もあり、将来の年金にもなります。

Universal Lifeの保険料はWhole Lifeより、安いので、これに入っている方が多いですが、積立金は非課税で、株式や債券のマーケットで運用されます。加入時、20年で払い込み終了と思っていたのに、運用利回りが予定利率より下がり、20年で払い込み終了ができず、延長して払わなければいけないケースが続出しています。Whole Lifeでは20年、15年で払い込み終了と設定した場合、保険料支払いの延長はいっさいないです。

従って、生命保険は必須の金融商品で、これによって私たちは安心して生活できます。

1. 残された家族の生活保障。
2. 亡くなられた方に財産がある場合、(借金がある場合でも)不動産や、投資資産を売却して、税金の支払いにあてなければいけません、生命保険金で税金を払い、不動産、投資を処分しなくてもいいです。
3. 会社として入れば、キーパーソンの死亡による損失を補てんできます。

注: 上の保険料は保険会社各社で多少の違いがあります。

重要なお知らせ

カナダ政府の税改正により、カナダの保険法が改訂されるため、2017年1月1日から、保険料が高くなります。生命保険に入っていない方は今年中に入ったほうが割安となります。また、掛け捨て保険は今年中に終身保険に轉換した方がお得です。生命保険のお見直し、ご質問等はお気軽に、下記までお問い合わせください。

CANADA  INVEST.com

投資アドバイザー

小林ヒロコ

604-727-2320

moxeyh@shaw.ca

